

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

## 2024 年度事業報告書

2025 年 5 月

# 2024 年度事業報告

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

## I. 事業の経過および成果（概要）

「全ての人に金融知力を」の理念を実現するために、様々なアプローチで金融経済教育に取り組み、金融経済教育団体としての知名度向上、そして事業収益の確保を図って参りました。

高校生向けの金融経済教育イベント「エコノミクス甲子園」においては、各都道府県で実施される地方大会の過半数が、オンライン形式から集合形式に戻り、全国大会も無事終了することができました。また、「リアビズ高校生模擬起業グランプリ」は、過去最高の応募数をいただき、無事に成果発表会を集合形式で実施し、参加者同士の交流や、各模擬企業で成果発表を行うことができました。また「国際経済オリンピック（IEO）」では昨年を引き続き、日本代表選定機関として 2024 年の IEO 香港大会へ日本代表 5 名を派遣し、うち 1 名が銅メダルを獲得いたしました。そして金融知力インストラクター制度の後継となる「金融商品フェアアドバイザー資格（FFA）」は、旧インストラクターからの移行が完了し、現時点で約 300 名にご登録いただいております。

2024 年度は、円安や物価高も進む中ではありましたが、多くの皆様のご支援や寄附等によって、財政的には黒字で終わることが出来ました。今後も持続可能な運営に向けて活動してまいります。

2024 年度の主要事業の概要、主なトピックは以下の通りです。

### I-1. 金融知力普及啓蒙事業

#### ① 第 19 回エコノミクス甲子園を開催

地方大会は 44 の地方大会（集合形式 28 大会、オンライン開催 16 大会）を実施し、全国で 731 チーム、1,462 名が参加しました。全国大会には、地方大会代表チームに加え、台湾経済オリンピック組織から台湾代表チームも参加し、45 チーム 90 名で開催しました。

金子・森育英奨学基金は継続して実施し、2 名の奨学生と 2 名の支援生が選ばれております。

また、全国大会優勝チームのニューヨーク研修旅行については、2025 年 3 月 30 日より、19 回大会の優勝チーム 2 名を引率いたしました。例年はニューヨークとボストンに訪問しておりましたが、今年はボストンに代えてトロントを訪問いたしました。

② 第5回リアビズ 高校生模擬起業グランプリを開催

今大会は、全国から91件の応募がありました。昨年のおよそ3倍、過去最高の応募数となり、注目度の高まりを感じております。成果発表会では、各模擬企業が行う気持ちのこもったプレゼンテーションはどれも堂々としており、ご来臨の皆様からも大変ご好評をいただきました。グランプリは、地元の桜並木の保全活動を伝えるために、桜をイメージした入浴剤を製作販売した東京都立国立高等学校の「カマエ」が受賞しました。

③ 経済カードゲームエコノミカの販売

カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べる「経済TCG エコノミカ」をオンラインにて継続して販売いたしました。今年度もエコノミカ全国大会は実施いたしませんでした。

④ 金融商品フェアアドバイザー資格 (FFA)

金融知カインストラクターの後継として2022年4月に開始しました「金融商品フェアアドバイザー資格 (FFA)」は、金融知カインストラクターとして活動いただいていた方々のFFAへの移行が完了しました。FFAは現在、およそ300名の方にご登録いただいております。

⑤ 国際経済オリンピック (IEO)

国際経済オリンピック (IEO) は、2018年から始まった、1年に1度開催される、高校生向けの経済、ビジネス、金融の知識を競う国際大会で、昨年より派遣を行っております。2024年度の日本代表は、第18回エコノミクス甲子園全国大会出場者や第4回リアビズの出場者から5名を選抜し、7月から8月にかけて香港で行われた大会では、うち1名が銅メダルを獲得いたしました。

⑥ Economics Asia Convention (EAC) 2025

上記IEOに向け、日本代表の最終選考と強化策の一つとして、また国際交流を兼ねて、3月下旬にアジアの高校生との合同合宿を行いました。昨年度に続き2回目の開催で、日本の高校生10名の他にマカオ、ネパール、香港から高校生が参加しました。合宿では東京大学大学院経済学研究科の教授による講義や、IEOを想定した筆記試験、国籍を混合したチームでビジネスケースのプレゼンテーションなどを行いました。

## I-2. 金融知力教育事業

### ① 通信教育

2024年度の通信講座受講者数は以下のとおりです。

新版通信講座	新規受講者数	昨年度	累計受講者数
ベーシック コース	1名	21名	1,952名
アドバンスド コース	0名	0名	711名
合計	1名	21名	2,663名

※通信教育事業は、今年度をもって終了いたしました。

### ② セミナー・研修

2024年度に当協会が主催、受託、講師派遣した研修は、以下のとおりです。

#### ・農林中央金庫「LPC研修」

昨年度に引き続き、農林中央金庫が主催し、全国のJAバンク職員が参加する、6月と11月に行われた宿泊研修の中のプログラムとして、金融知識のクイズ大会を実施しました。

#### ・農林中金バリューインベストメント (NVIC) 「モックトレーダー」

昨年度に引き続き、タブレットを用いて10年間の長期投資を1時間で体験できる模擬投資シミュレーションツールを、NVICが主催する10月の研修の中のプログラムとして行いました。

#### ・静岡雙葉高校「モックトレーダー」

昨年度に引き続き、12月に上記と同様のプログラムを高校1年生の4クラスに対して実施いたしました。

#### ・農林中金バリューインベストメント (NVIC) 「富山・石川のJA職員に向けた研修」

NVICが主催し、富山や石川のJA職員が参加する研修の中で、知識の再確認と参加者相互の交流を兼ねたクイズ大会を実施しました。

### **I-3. その他特記事項**

#### **① 寄附金**

一般会計には、個人から 500 万円の寄附がありました。  
エコノミクス甲子園関連は 4,815 万円の寄附等を頂きました。  
リアビズ関連には、300 万円の寄附をいただきました。  
国際経済オリンピック（IEO）関連には、940 万円の寄附をいただきました。  
奨学基金特別会計には、700 万円の寄附をいただきました。

#### **② 雑収入**

21 万円の国税還付金と、4 万円の授業目的公衆送信補償金がありました。

## Ⅱ. 財務の状況

2024 年度の収支の状況は添付のとおりとなっています。税理士へ全件監査を委託しております。引き続き財務会計の公正性、透明性を高めてまいります。

- ・ 経常収益計は、昨年度 7,522 万円から今年度 7,372 万円と 150 万円の減少でした。
- ・ 事業費は 5,952 万円で、そのうち 1,860 万円が人件費となっております。
- ・ 管理費は 1,366 万円で、そのうち 981 万円が人件費となっております。
- ・ 事業費と管理費を合計した経常費用計は、昨年度 7,561 万円から今年度 7,318 万円と 243 万円の減少でした。
- ・ 2024 年度の利益は 46 万円となっております。

以上